

## 令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

### 1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

### 2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R1	R2	R3		
熊本県	多良木町	つきぎ資源活用協議会～みらい～	●	●	■	B	事業最終年度は、報告会や試食会を実施している。また、コロナ禍でも緑化フェアへの出展など、積極的に活動も行っている。今後も販路を拡大しながら商品改良を含め、構成員全員で継続的に活動し進めればと考える。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

### 3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である明石照久から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

#### 【第三者】

明石 照久

#### 【意見聴取の概要】

新型コロナウイルス感染症の影響の中、3年間の事業を振り返り、事業への取り組み、協力体制など高評価をいただいた。ジビエの商品であり、ハイレベルな商品が出来たのではないかと意見もいただいた。今後も地域や関連事業者と協力体制を整えながら、事業を継続し続けることが大切であると助言を受けた。